



「来んさいカフェ」は「集いの場」(コミュニティ)を意味し、地域の皆様と大学を結ぶ「地域共生の場」です。

# 研究活動内容

①

## 来んさいカフェ：広島 子ども・子育て教育福祉研究部門

子どもも親も一緒に学び、楽しめる！  
いろいろな悩みや課題も相談できる安心の場所

### 発達障害 支援事業

担当者：  
小児神経科の専門医  
特別支援教育の専門教員  
臨床心理士



#### 自閉症スペクトラム障害・注意欠如/多動性障害・ 学習障害を持つ子どもと保護者の支援活動

- ①発達障害が疑われる子どもの認知行動特性の把握(面談と行動)
- ②心理・神経心理アセスメント
- ③支援方略の作成(医療機関への紹介を含む)
- ④子どもへの定期支援の実施
- ⑤保護者の支援・アドバイス(心のケアを含む)



### ぶんぶん 親子教室

担当者：  
保育士  
臨床発達心理士



#### 就園前の子どもをもつ母親を対象に ほめる子育てを身につけるトレーニング講座

- ①学生参加による親子ふれあい遊びを行い、  
子ども子育てに関する悩みを解消
- ②地域の子育てサポーターへの褒め方講座



### スヌーズレン

担当者：  
ISNA日本スヌーズレン総合研究所所属教員



#### 光や音で五感に訴え 心と体をリラックス

- ①子ども・認知症者へのスヌーズレンによる心の健康増進
- ②スヌーズレンの体験が与える生理心理学的効果の研究
- ③スヌーズレン研修会による地域支援サポーターの養成



### 音楽療法

担当者：  
音楽療法士  
臨床心理士



#### 高齢者が音楽を介して ストレスを軽減

- ①高齢者の音楽活動に対して、音楽療法を取り入れ生活の質向上
- ②地域の施設職員や学生を音楽療法支援サポーターとして養成
- ③音楽療法を大学の活動や地域施設を介して地域に普及

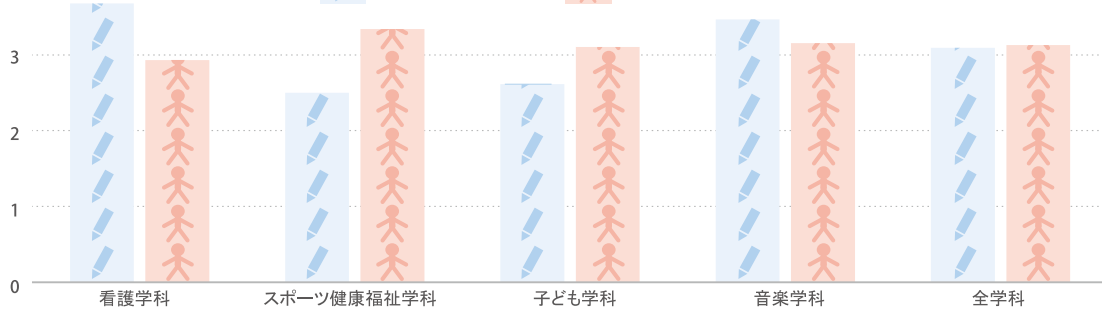


## 教育の質的転換 変化と成果

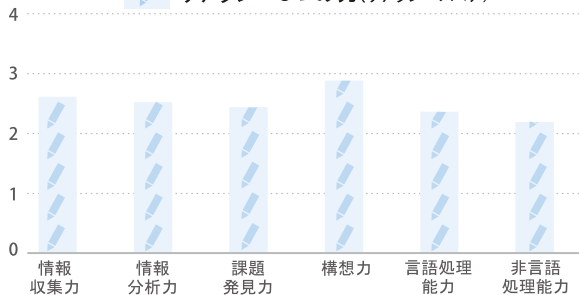
広島文化学園大学 研究ブランディング事業の取り組みを受けて、各学部・学科での教育の質的転換が進化・伸展し、学生の学びの質および大学内の各教員の教育の質的向上が示唆されている。

### PROGテスト

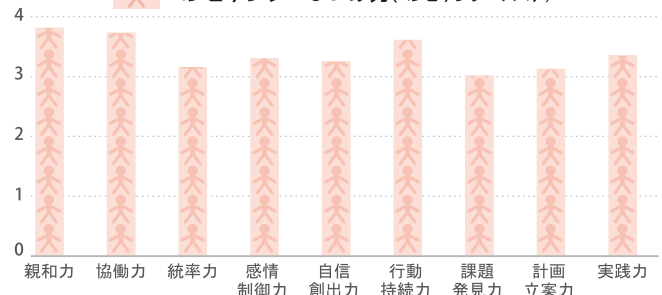
●スコアの平均値    リテラシー(知識活動)    コンピテンシー(行動特性)



### リテラシー6つの力(リテラシースコア)

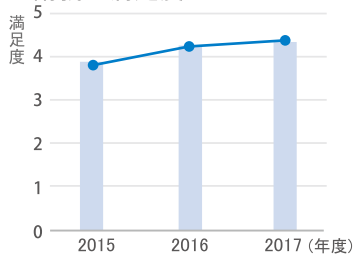


### コンピテンシー9つの力(コンピテンシースコア)

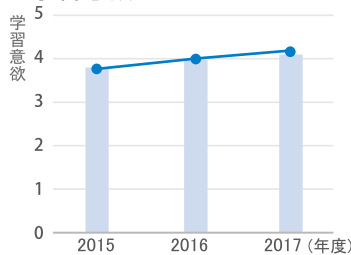


スポーツ健康福祉学科と子ども学科ではコンピテンシーのスコアがリテラシーよりも高くなったが、看護学科と音楽学科では、リテラシーのスコアがコンピテンシーよりも高くなった。リテラシーとコンピテンシーの個別の要素で見ると親和力、協働力、行動持続力のスコアが他と比較して高かった。

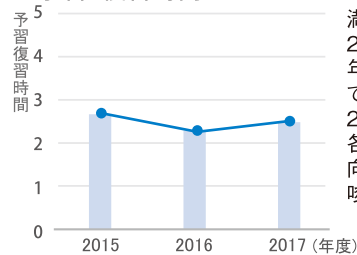
### 講義の満足度



### 学習意欲

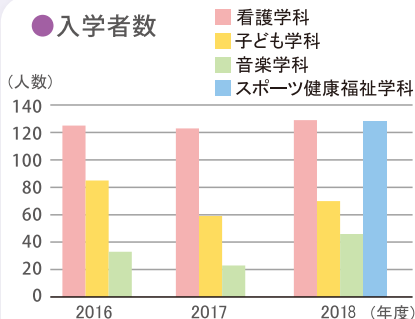


### 予習・復習時間



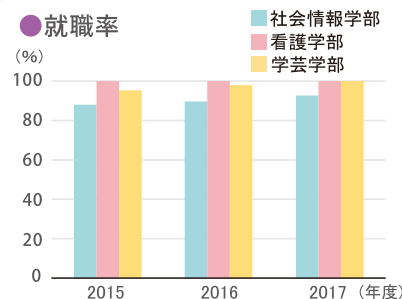
満足度と学習意欲は、2015年度から2017年度にわたって増加しており、2015年度から2017年度にわたって、各教員の教育の質の向上していることが示唆される。

### 入学者数



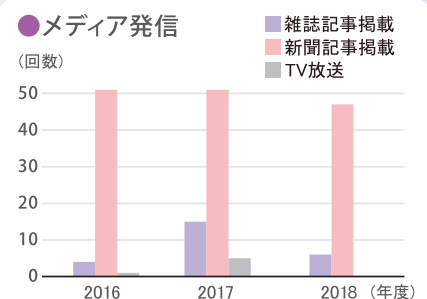
2017年度から2018年度にかけて全学科入学者数は増加した。スポーツ健康福祉学科は2018年度に設置されたが、定員数を満たした。

### 就職率



看護学部では2015年度から2017年度にかけて就職率が100%を達成した。学芸学部と社会情報学部では、2015年度から2017年度にわたって、就職率が増加し、学芸学部は2017年度に100%を達成した。

### メディア発信



新聞記事掲載回数、TV放送回数、TV放送回数は2016年から2017年度にわたって増加、2018年度は11月の時点の回数である。



学校法人広島文化学園

広島文化学園大学  
Hiroshima Bunka Gakuen University

広島文化学園大学のHP  
<http://www.hbg.ac.jp/>



研究ブランディング事業のHP  
<http://hbg-kinsaicafe.jp/>



## 研究活動内容

2

来んさいカフェ：坂・郷原  
スポーツ・健康福祉研究部門

運動を通して健康を促す。  
地域と共に生活の質の向上を目指す

### スポーツ教室



誰でも気軽に楽しめるアダプテッド・スポーツを行うことで心身ともに健康に

- ①運動能力の高低、障害の軽重にかかわらず、誰でも安心して楽しむことができるをスポーツ教室(アダプテッド・スポーツ教室、テニス教室、ダンス教室、健康寿命を延ばす体操教室)実施
- ②高齢者と大学生がともにアダプテッド・スポーツを交流し、インクルーシブ・スポーツ健康システムの構築



### HBG 重度・重複障害児 スポレク活動教室 「はなまるキッズ」



身体、知的にも重度の障害を有するこどもを  
対象としたアダプテッド・スポーツの支援プログラム

- ①特別支援学校や子ども療育園等に通う重度・重複障害児を対象に、アダプテッド・スポーツ教室を実施
- ②重度・重複障害児を対象としたアダプテッド・スポーツの指導者の養成



### 高齢者の 活力増加支援



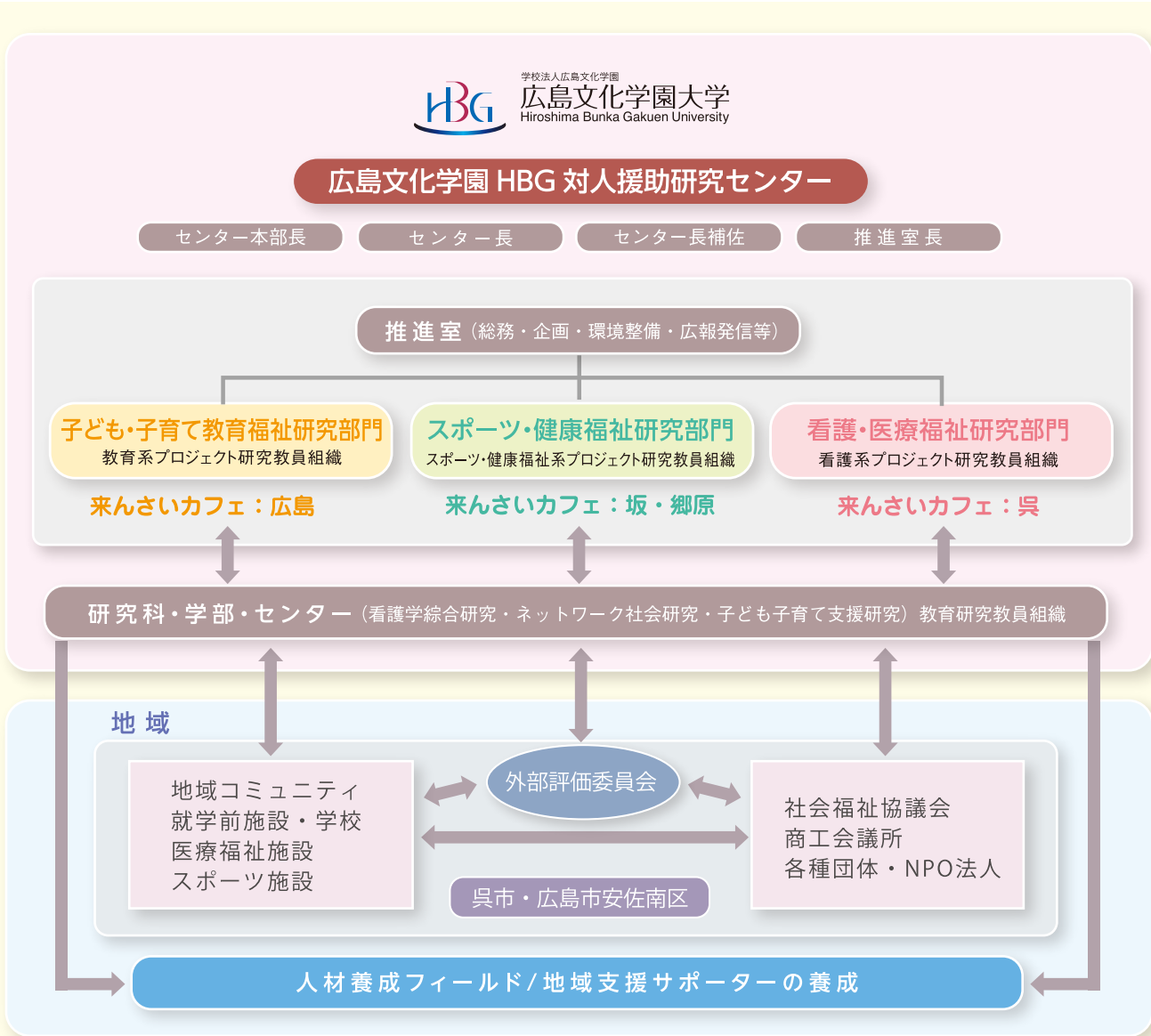
高齢者に健康増進に関する公開講座を行い、  
寿命を延ばす

- ①加齢とともに心身ともに活力が低下している高齢者を支援
- ②心身の活力をチェックし、健康維持のための運動等をリードする市民サポーターを養成



# 事業実施体制

地域共生のための対人援助システムの構築と支援サポーターの養成  
 対人援助と地域支援サポーター養成の各プログラム開発のためH B G 対人援助研究センターを設置。各研究部門に「来んさいカフェ」を提供し、支援が必要な子ども、障害児・者、高齢・認知者が健康に暮らせる共生社会の実現と呉・広島市安佐南区を中心とした地域支援サポーターの養成を目指す。



## 研究ブランディング事業に対する呉市長のコメント (大学祭の挨拶より)

日時/平成30年12月15日(土) 9:30  
 場所/阿賀キャンパス

広島文化学園大学は、研究ブランディング事業を通じ、地域との連携を進めておられます。きんさいカフェや認知症カフェなどで地域の市民の健康増進の取組をして頂き、研究を進めておられます。こうした研究の成果を呉市も健康福祉政策に生かしていきたいと思っております。また、各種公開講座を開催して頂き、多くの呉市民も参加させて頂いておりますことも厚くお礼申し上げます。私は、こうした取り組みを広島文化学園のブランディングというだけでなく、呉市のブランディングをして頂きたいと強くお願いするものです。



# 研究活動内容

## 3

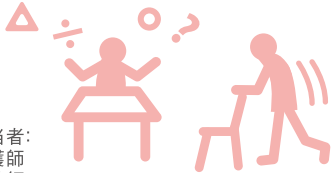
# 来んさいカフェ：呉

## 看護・医療福祉福祉研究部門

プロの看護師と一緒に高齢者・認知症者とのコミュニケーションを通して健康を目指す

### 高齢者カフェ

市民の健康増進、各種疾病・介護予防と健康寿命の延伸の支援



担当者：  
看護師  
保健師

- ① 体力測定、物忘れ診断、脳の元気度チェック、体組成測定、骨密度測定等の総合的に心身の健康をチェック
- ② 学生による異世代交流の場の実現
- ③ 高齢者の健康支援測定システムの構築

### 認知症カフェ「あがりんさい」

高齢者の認知症予防と認知症者の支援



担当者：  
看護師  
認知症ケア上級専門士  
精神保健福祉師

- ① 回想コミュニケーション、フラダンス、足湯、ハンドベル等の活動を通じた健康の増進
- ② 呉カフェによるネットワークづくり
- ③ 学生派遣型カフェの実施により、学生との交流の場を実現
- ④ 認知症サポーター研修会を開催し、学生、地域サポーターを養成

## 広島文化学園 特色のある事業マップ

広島文化学園 HBG対人援助研究プログラムとして様々な取り組みをおこなっています。

### 子ども・子育て教育福祉研究部門

- ・とうべえまつり
- ・子どもまつり
- ・ひとり暮らし高齢者へのお弁当配食サービス
- ・区役所小さな音楽会
- ・音楽を通しての生涯学習公開講座

### スポーツ・健康福祉研究部門

- ・小学生陸上教室
- ・ダンス指導
- ・健康寿命を延ばす体操教室
- ・呉市社会調査(健康状態の評価)

### 看護・医療福祉福祉研究部門

- ・防災訓練
- ・認知症、高齢者サポーターの養成
- ・認知症、高齢者エキスパート養成プログラム
- ・職業実践育成プログラム(BP)  
(職業訓練給付金指定)

